



羽地っ子

平和学習会

六月の平和教育週間で平和教育学習会を行いました。講師は、県内外で活躍なさっている、ていーだ観光の崎原真弓さんとスタツフ四名の皆さんでした。老婆に扮し、子ども達に語り掛けるように平和の大切さ戦争の悲惨さを伝えていただきました。熱い中での学習会でしたが、子ども達は真剣に聞き入っている様子で「命どう宝」や



沖繩の「ちむぐる」について学習を深めることができました。児童の感想発表の場面では感極まって言葉に詰まる場面もありましたが、平和について学んだことを発表してくれました。感想発表してくれた児童の感想文を紹介します。

児童の感想(低学年)

わたしは、おばあちゃんからひいおじいちゃんが見えなそうをたいけんしたときの話を知ることがあります。せんそうは、人と人がころしあったり、かんけいのない人たちがまきこまれたりして、たくさんの人がなくなつたそうです。わたしは、とてもこわくなりました。

今日、まゆみ先生の話をして生きてたくても生きることができなかつた人がいたことやわたしたちとおなじようなこともわたしがなくなつてしまつたことをしり、とてもかわいそうに思いました。

わたしたちが今、ふ自由なく生きていることがあたり前ではないことに気づきました。「ぬちどう宝」いのちをだいじにして生きていこうと思ひました。

今日は、お話をきかせてくれて、本当にありがとうございました。

児童の感想(高学年)

まゆみ先生、ていーだ観光のみなさん、今日



は、お忙しい中、僕たち羽地小学校のためにご講話をしていただきありがとうございます。

僕は今、総合の時間で沖繩戦について学習をしています。そこで、目の前で友達がけんじゆうでうたれてころされたという生存者がいたこと。女の人が、ばくだんをもってアメリカ軍に向かつていったという事実があることなどを知りました。そのことから、戦争は残こくて悲さんだと思ひました。さらにまゆみ先生のお話を聞いて、二度と戦争を起こしてはいけないと感ひしました。

これから僕は、トラブルがあつても、人に暴力をふらず、ぶきをもちません。

本日は、とてもためになるご講話、本当にありがとうございました。